

7 がんセンター



がんセンターの主な役割は、地域がん診療連携拠点病院の要件充足に向けた活動とがん相談支援センターにおけるがん診療に関わる支援、及び外来化学療法室の効率的な運営である。26年度は診療報酬の改定に伴い、これまで外来化学療法加算が算定可能であったホルモン療法などの皮下注射・筋肉注射が算定できなくなった影響で、外来化学療法室年間利用者延数は6,277名と一時減少したが、27年度からはレミケードなどの生物学的製剤投与の患者さんを積極的に受け入れ、さらに27年度から整形外科、28年度から脳神経内科の利用者が加わり、外来化学療法室利用者数は28年度の8,959件、29年度10,755件、30年度12,304件と年々増加傾向にある。診療科別では、呼吸器内科、炎症性腸疾患内科、乳腺・内分泌外科、消化管内科、リウマチ・膠原病内科、下部消化管外科の比率が多い傾向にあったが、今年度も多くの診療科において前年度に比べて利用者数の増加がみられた。また外来化学療法室の効率的な運用のために、28年度からは外来化学療法利用者会議を毎月1回開催し、外来化学療法室を利用する全診療科で情報の共有を行い、必要であれば適宜利用枠の変更・拡充を行っている。また同時にレジメン審査委員会も開催し、エビデンスに基づいた迅速かつ適切なレジメン審査を行い安全で有効性の高い治療を提供するとともに、同じレジメンを複数科で利用する場合の統一化も行い、調剤業務などの業務効率化も行っている。

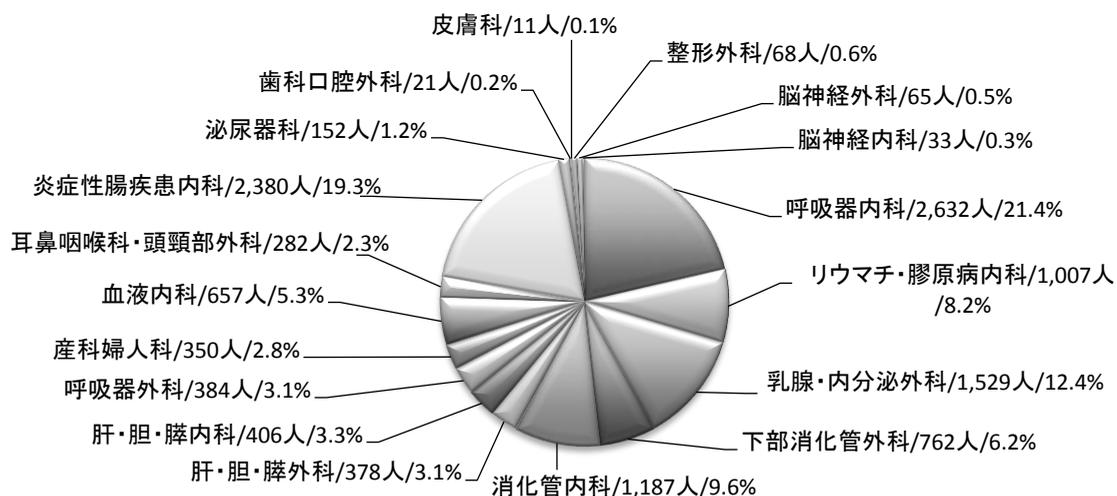
院内のがん診療に対する啓蒙活動として、医師やメディカルスタッフを対象に年間を通してがんセンター主催の講演会や勉強会を開催している。がん相談支援センター・がん診療支援室では、がん患者さんやそのご家族からの医療や生活に関するご相談に対して専門の看護師やソーシャルワーカーが、対面相談を年間1,100件以上、電話相談を年間800件以上対応し、がん診療のサポートを行っている。

7-1 年度別外来化学療法室利用者数

(人)

区 分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	30年度 構成比率(%)
血液内科	156	267	341	465	657	5.3
リウマチ・膠原病内科	971	1,111	1,158	1,092	1,007	8.2
肝・胆・膵内科	339	235	268	447	406	3.3
呼吸器内科	1,392	1,339	1,798	2,094	2,632	21.4
消化管内科	619	946	954	1,165	1,187	9.6
炎症性腸疾患内科	88	994	1,454	1,945	2,380	19.3
脳神経内科	-	-	23	27	33	0.3
肝・胆・膵外科	522	569	344	434	378	3.1
上部消化管外科	9			2		
下部消化管外科	754	720	676	744	762	6.2
乳腺・内分泌外科	812	969	1,052	1,354	1,529	12.4
呼吸器外科	271	193	303	307	384	3.1
整形外科	-	44	47	44	68	0.6
脳神経外科		40	81	36	65	0.5
皮膚科				22	11	0.1
泌尿器科	15	21	55	56	152	1.2
産科婦人科	179	156	205	326	350	2.8
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	138	165	150	178	282	2.3
歯科口腔外科	12	51	50	17	21	0.2
合 計	6,277	7,820	8,959	10,755	12,304	100.0

7-2 30年度診療科別外来化学療法室利用者の構成比率(人)(合計12,304人)



7-3 年度別がん相談支援センターがん診療支援室の相談件数

(件)

区 分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	30年度 構成比率(%)
対 面 相 談	1,201	913	1,254	1,254	1,185	59.3
電 話 相 談	507	521	637	639	814	40.7
合 計	1,708	1,434	1,891	1,893	1,999	100.0